

2027年2月期 第1四半期

決算説明会

2026年7月9日



イオンフィナンシャルサービス

証券コード 8570(東証プライム・その他金融)

- 1 2027年2月期 連結1Q決算概要
- 2 国内事業
- 3 海外事業
- Appendix

# 2027年2月期 第1四半期 連結業績ハイライト

	連結		国内		海外		26年度通期 連結予想	進捗率
		YoY		YoY		YoY		
営業収益	1,538 億円	113 %	891 億円	110 %	653 億円	116 %	6,000 億円	26 %
営業利益	174 億円	135 %	59 億円	172 %	115 億円	123 %	450 億円	39 %
経常利益	175 億円	127 %	—	—	—	—	450 億円	39 %
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	89 億円	206 %	—	—	—	—	150 億円	60 %

# 第1四半期 連結決算サマリ

連結営業収益はYoY113%、営業利益はYoY135%

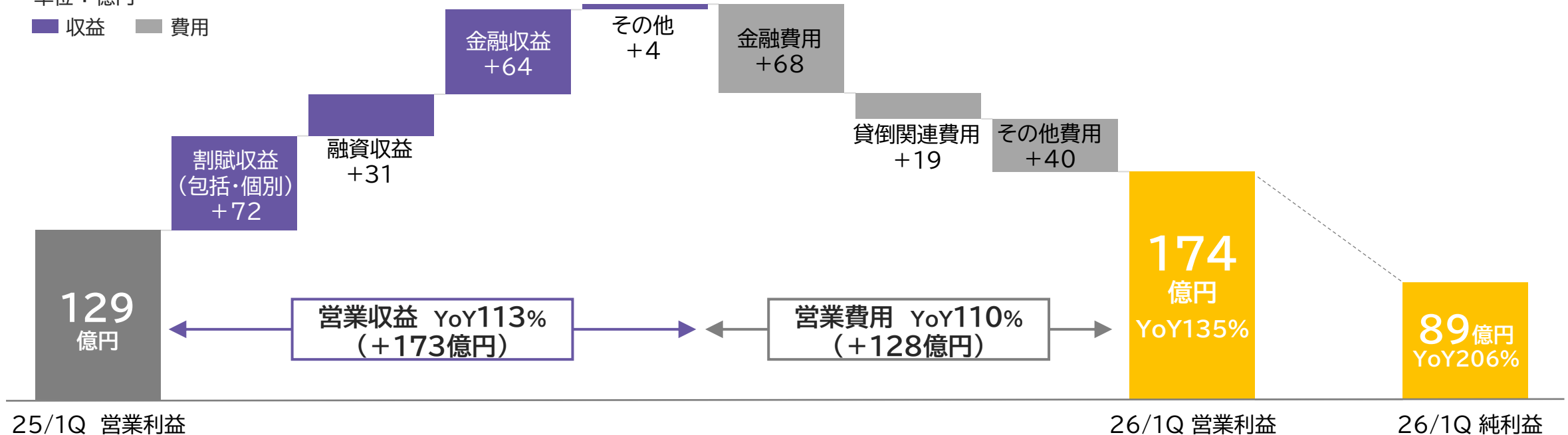
- 連結有効ID数は6,058万人(期首差+107万人)に拡大し、営業債権残高および取扱高が増加

国内基幹システムは計画通り6月稼働

- 本稼働により、新サービス等の提供スピード向上、データ活用高度化等の事業高度化を図っていく
- 2Qより償却費を計上 加えてシステム入替に係る一時費用(設備費)を計上見込み

単位：億円

■ 収益 ■ 費用



# 2026年度業績予想

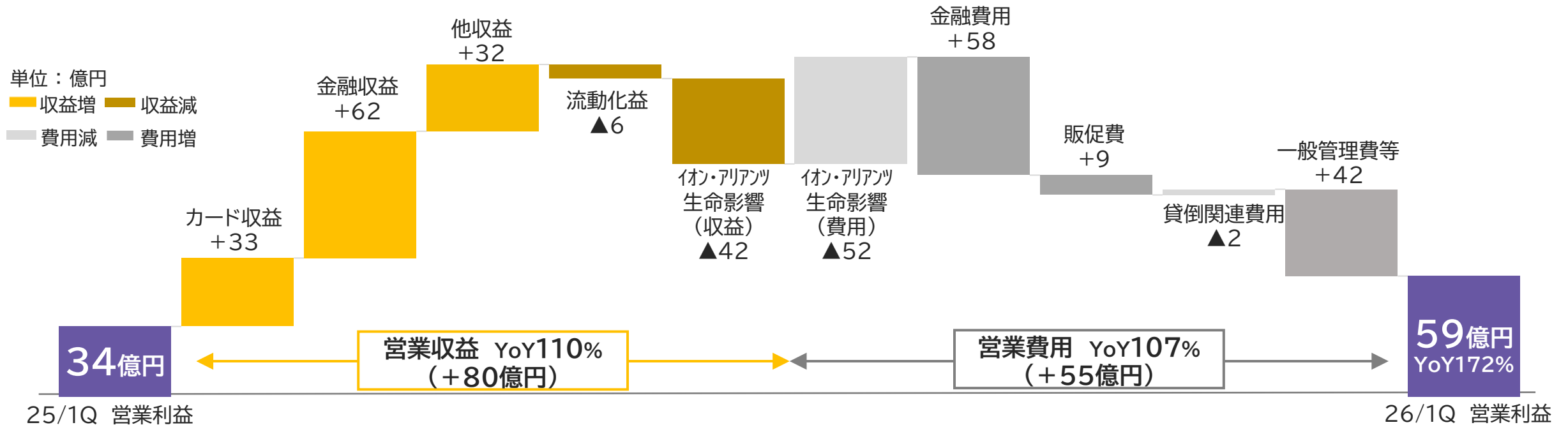
(単位:億円)

	2025年度実績		2026年度予想		
	連結	連結	YoY	国内	海外
営業収益	5,693	6,000	+307	3,550	2,450
営業利益	606	450	▲156	50	400
営業利益率	10.7%	7.5%	▲2.7pt	1.4%	16.3%
経常利益	606	450	▲156	—	—
当期純利益	210	150	▲60	—	—
1株あたり配当金 (年間、円)	53	53	±0	—	—
ROE	4.5%	3.2%	▲1.3pt	—	—

# 国内事業

# [国内] 第1四半期 営業利益 前年同期差内訳

- 金融収益の拡大が貢献 国債等のリバランス実施も前年同期を大幅に上回る



**主な内容**

**[営業収益]**

- ・カード収益 +33億円  
(包括信用購入あっせん収益+32億円、キャッシング収益+1億円)
- ・金融収益 +62億円  
(利息・配当+32億円、貸出金利息+7億円、有価証券売却益+38億円)
- ・他収益 +32億円  
(役務取引収益+26億円)

**[営業費用]**

- ・金融費用 +58億円  
(預金利息+17億円、国債等のリバランス+32億円)
- ・販促費 +9億円
- ・一般管理費等 +42億円  
(電子マネー退蔵益引当金繰入額+25億円、支払手数料+6億円、システム運営費+3億円)

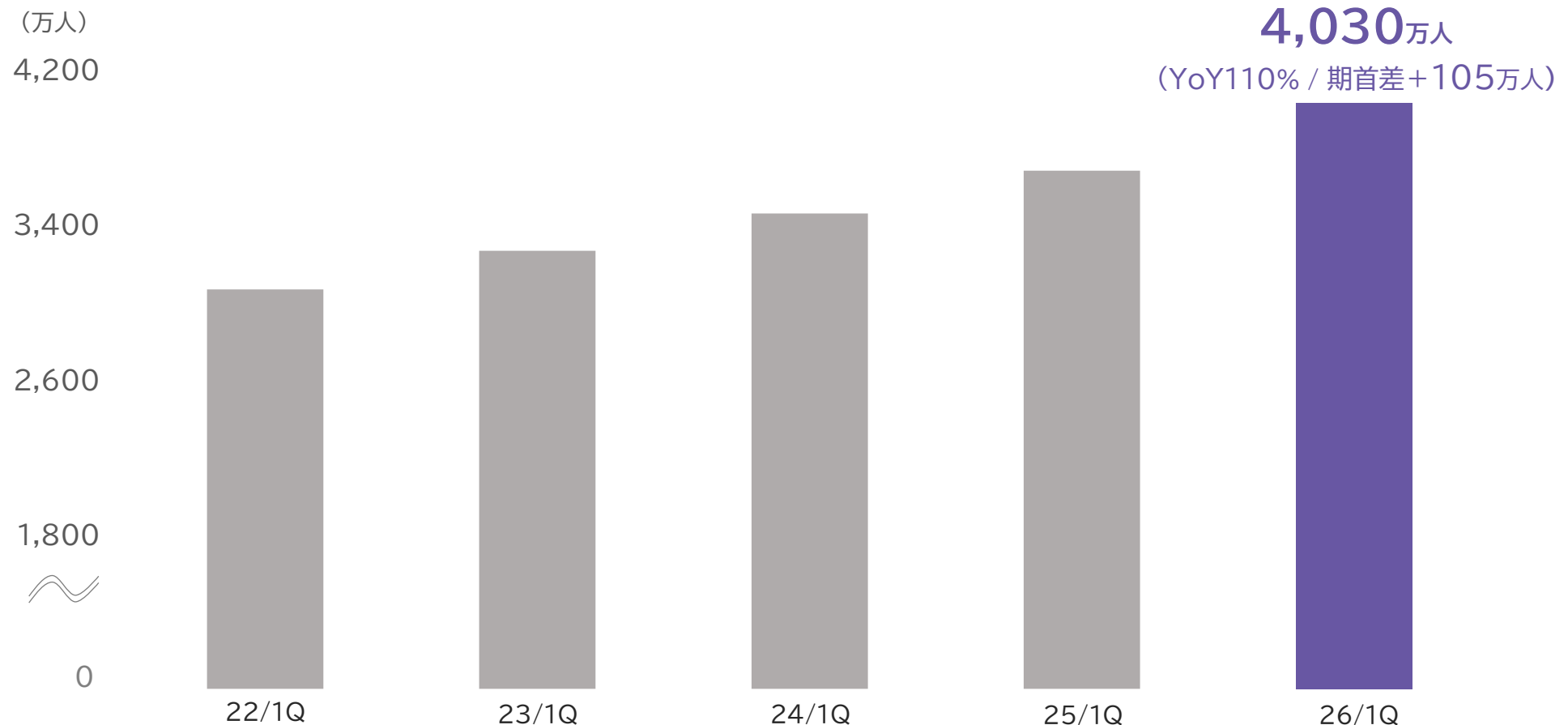
# [国内] 顧客基盤 <有効ID>

稼ぐ力の  
発揮

高効率経営  
への転換

安全・安心  
No.1

- 有効ID数のYoY+351万人増加し、チャージ払い会員数の同+233万人増が成長を牽引



※有効ID：イオンカードやAEON Pay、イオン銀行口座等の当社提供サービス利用の顧客数  
※会員が重複する場合は、名寄せして集計

# [国内] 顧客基盤 <イオンカード、AEON Pay>

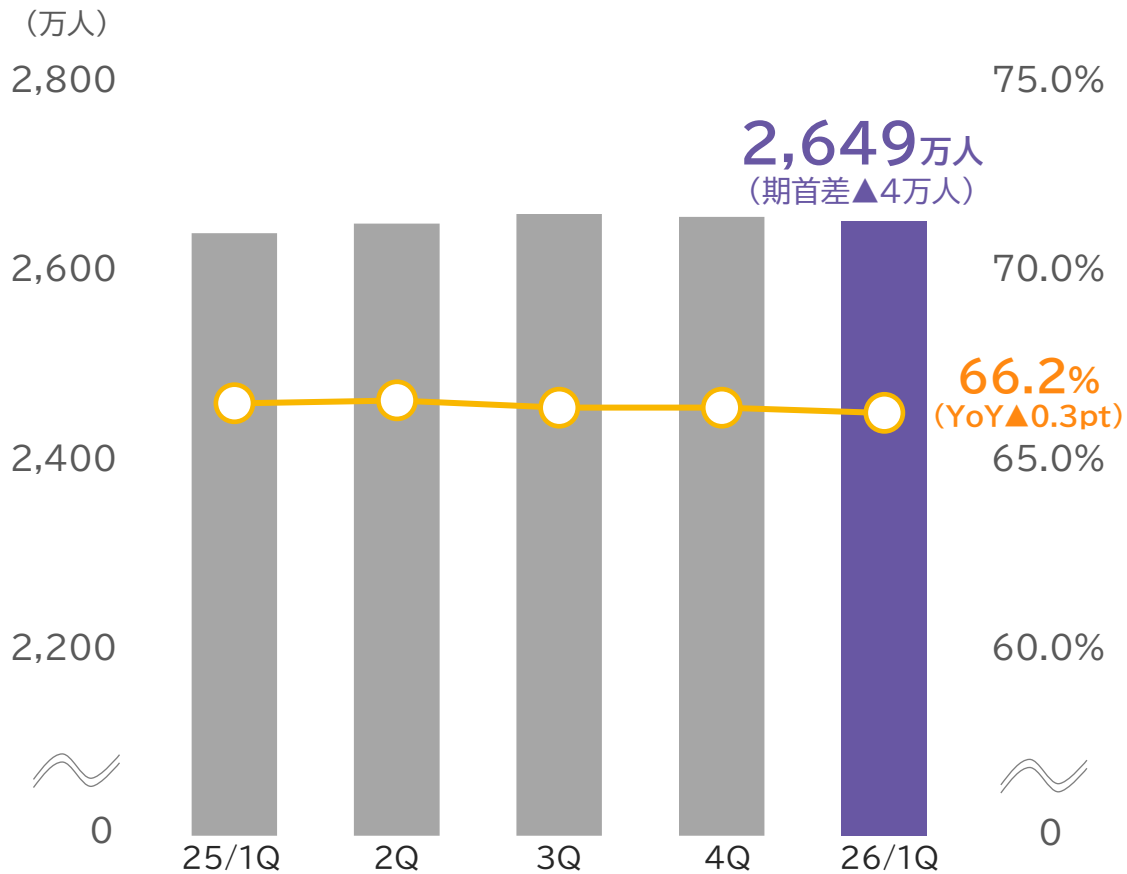
稼ぐ力の  
発揮

高効率経営  
への転換

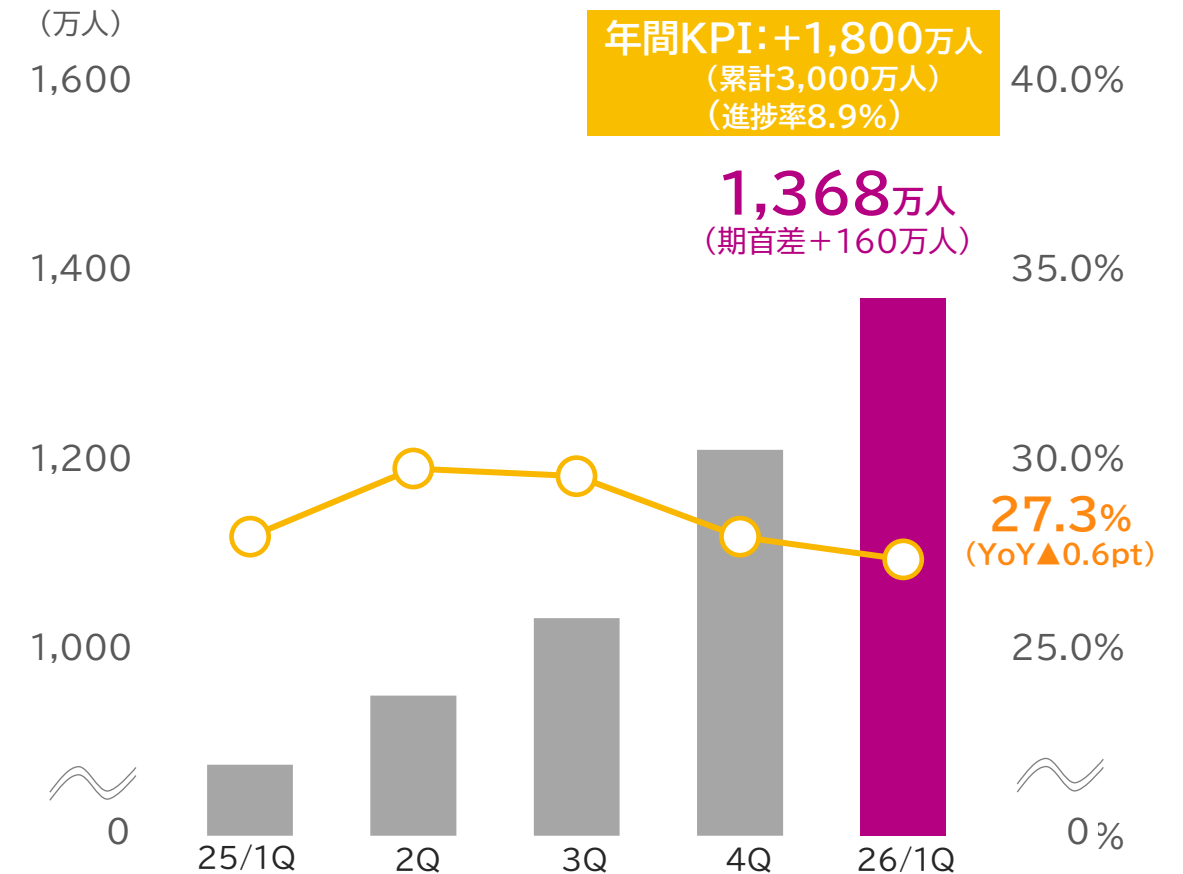
安全・安心  
No.1

- カード有効会員数は期首より4万人減少、前年同期差では12万人増加
- 4月より「イオンウォレット」アプリを新たに「AEON Pay」アプリとして提供開始

## カード有効会員数・年間稼働率



## AEON Pay有効会員数・年間稼働率



# [国内] 自社決済取扱高

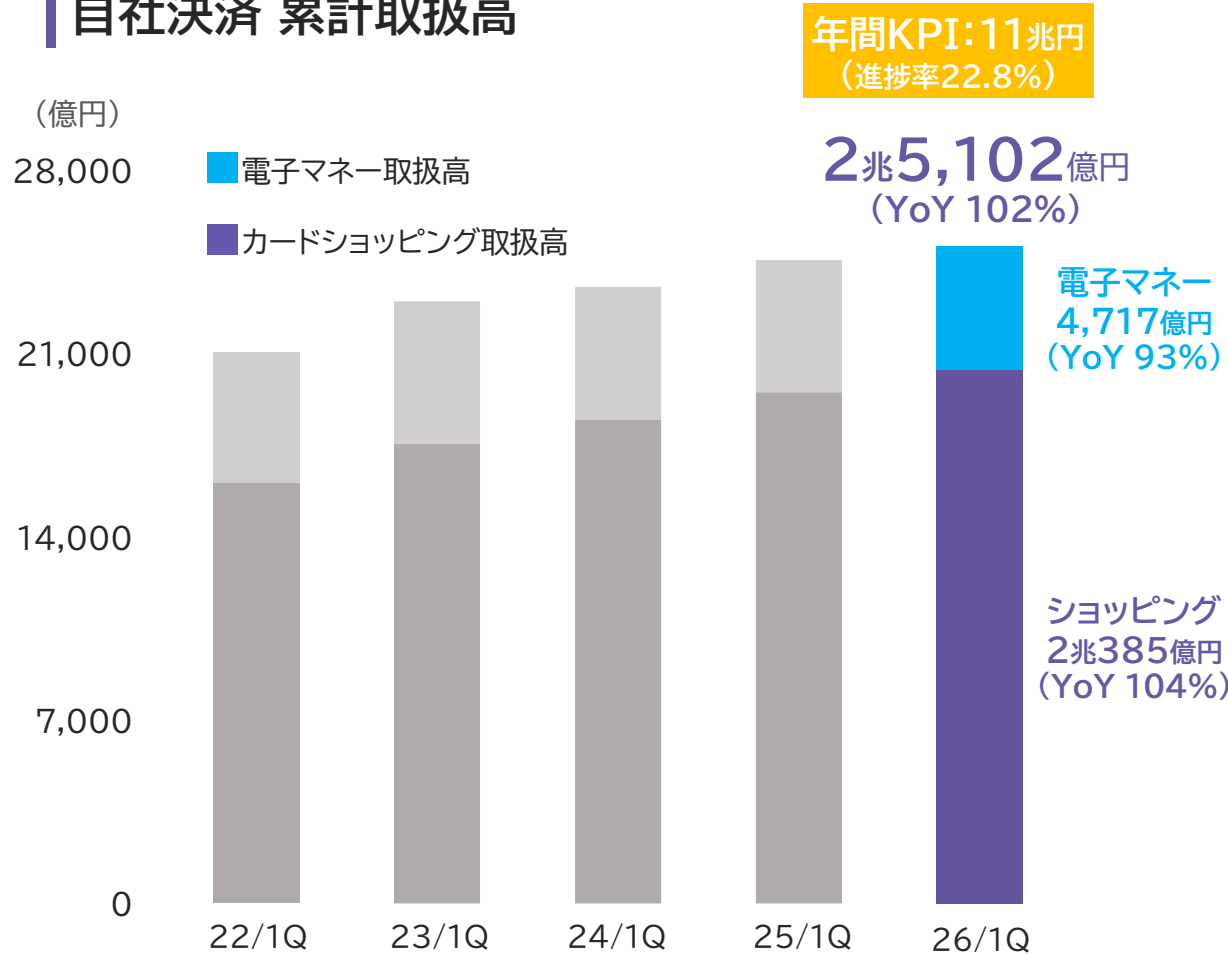
稼ぐ力の発揮

高効率経営への転換

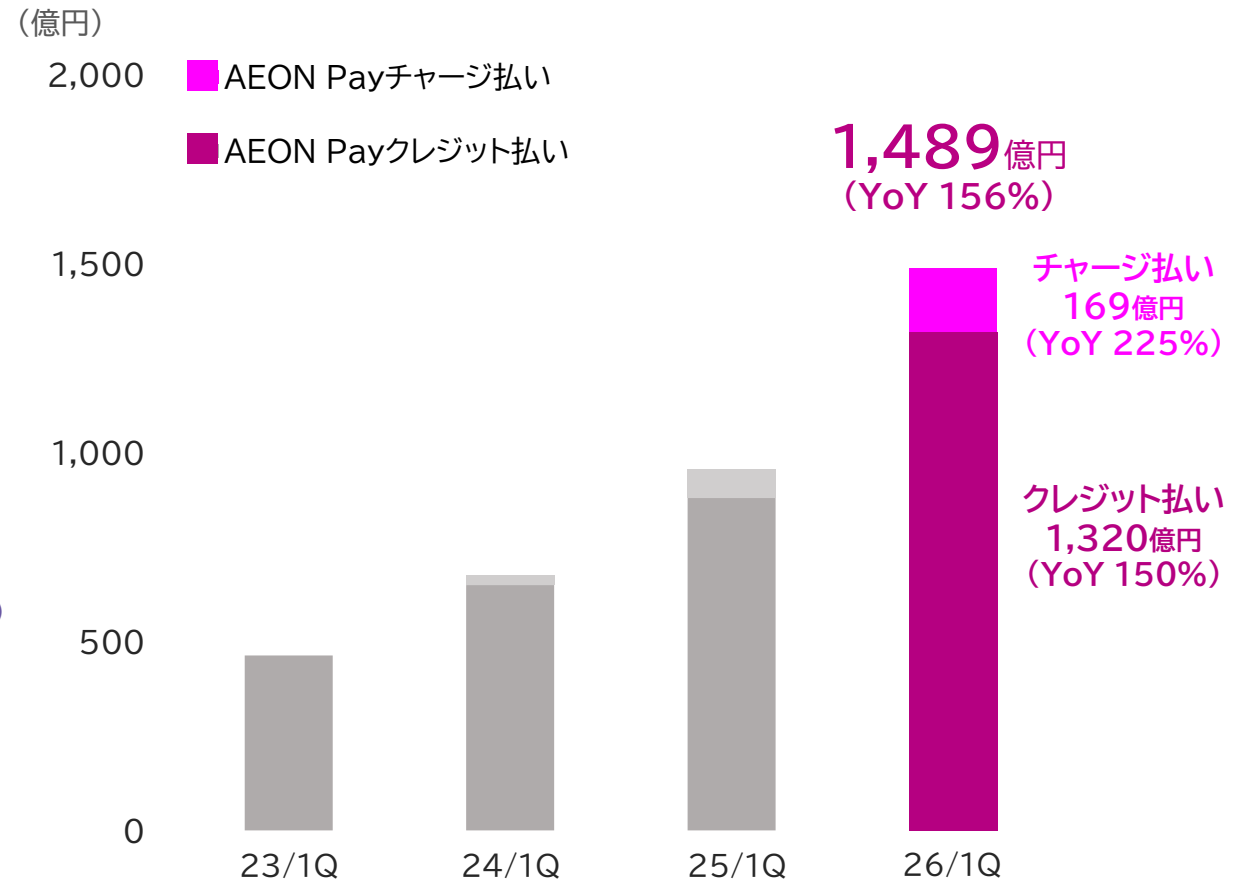
安全・安心 No.1

- 決済手段の利用分散が進み、電子マネー取扱高は前年同期比を下回る
- AEON Payは、イオングループ内外利用の促進に取り組み順調拡大

## 自社決済 累計取扱高



## うち、AEON Pay取扱高



# [国内] 高利回り債権残高

稼ぐ力の  
発揮

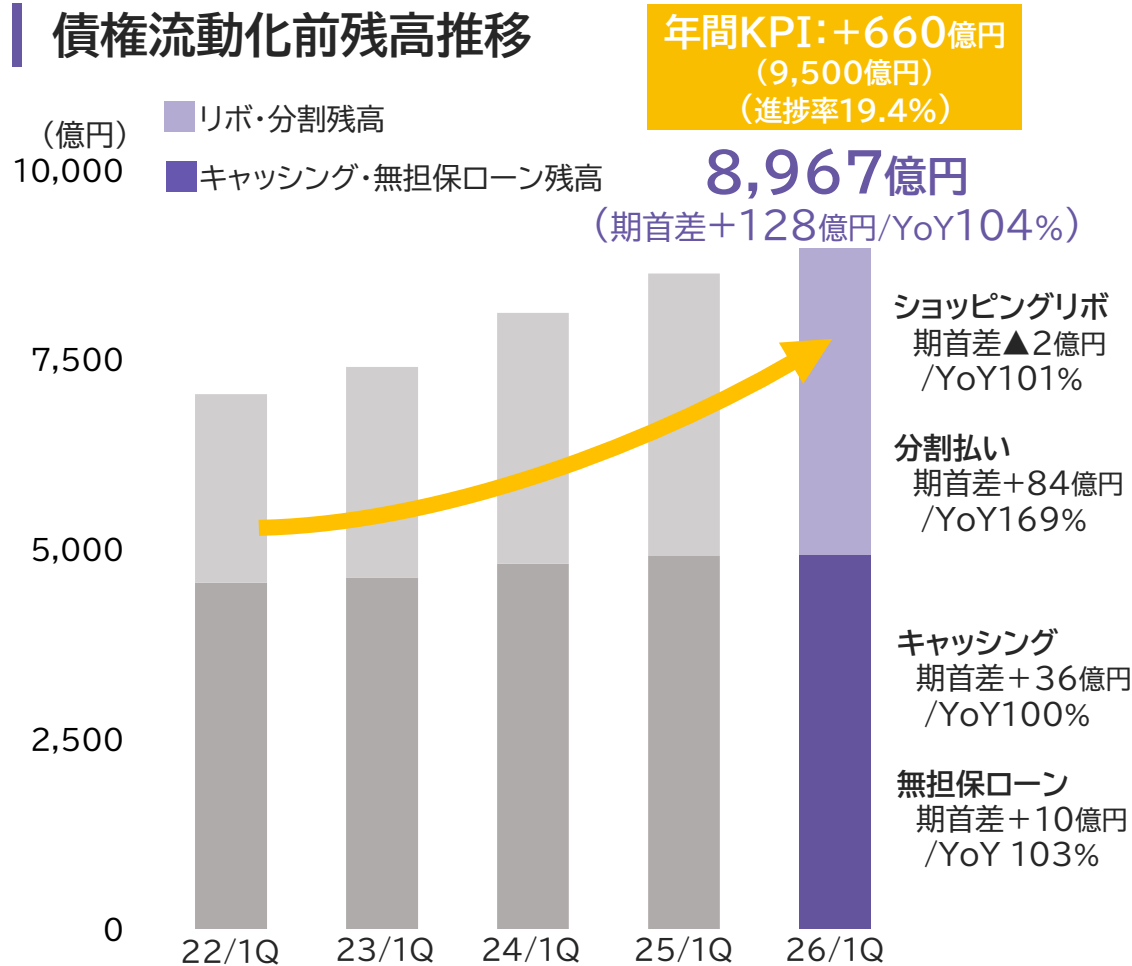
高効率経営  
への転換

安全・安心  
No.1

- 分割債権の拡大により、高利回り債権残高は過去最高
- 分割払い手数料を実質年率9.69%~12.42%から14.70%~17.91%に引き上げ※

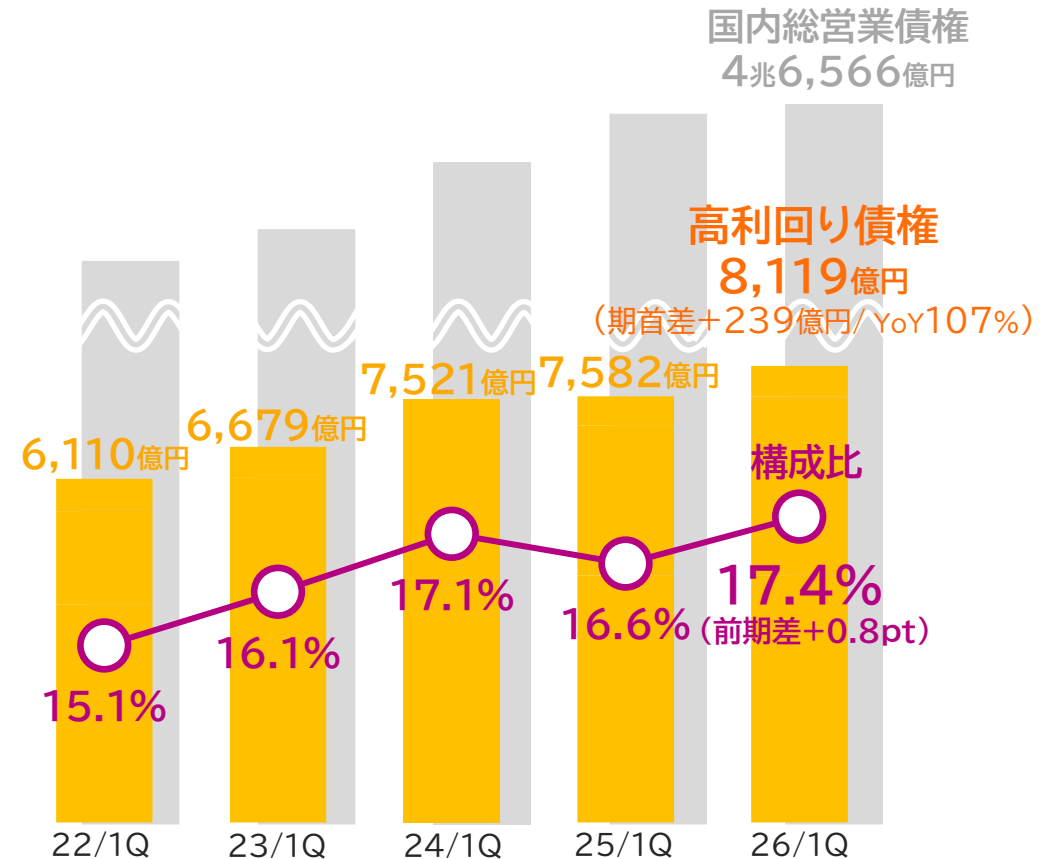
※2026年11月11日ご利用分より

## 債権流動化前残高推移



## 高利回り債権比率と残高推移(債権流動化実施後)

※高利回り債権:リボ・分割、キャッシング、無担保ローン



# [国内] 住宅系ローン・法人向け債権残高

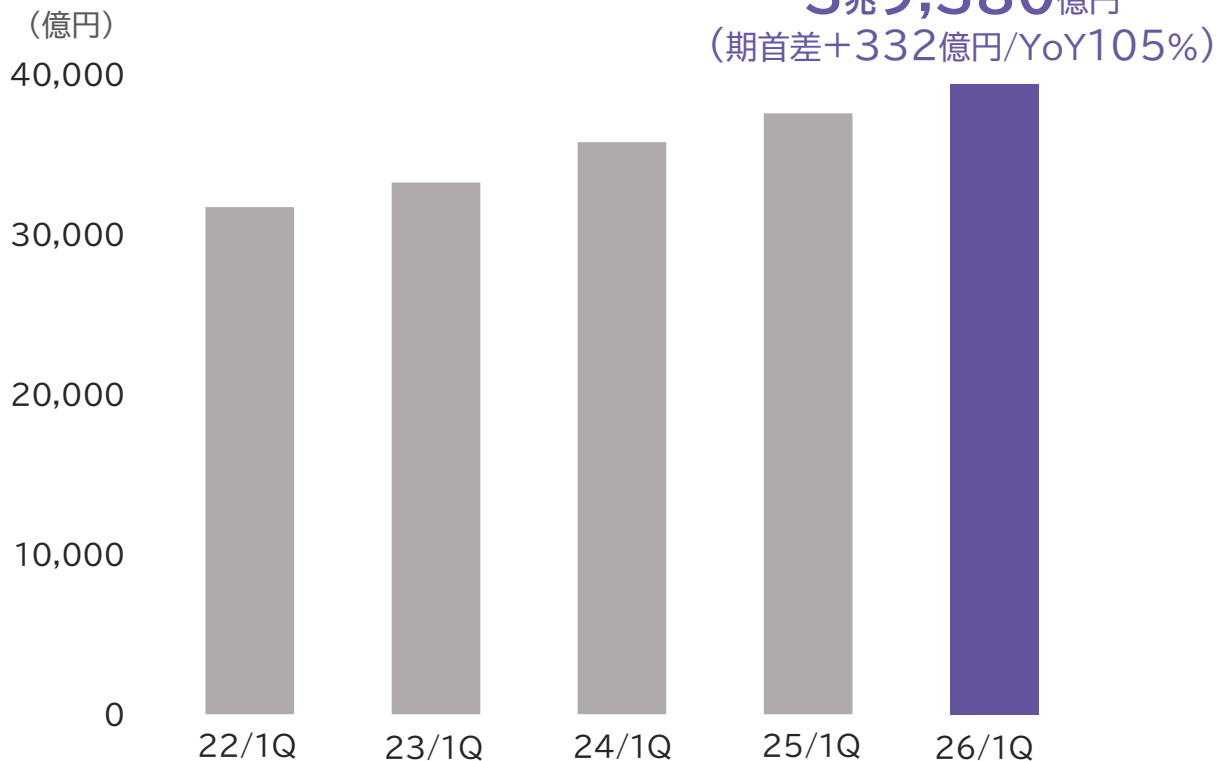
稼ぐ力の発揮

高効率経営への転換

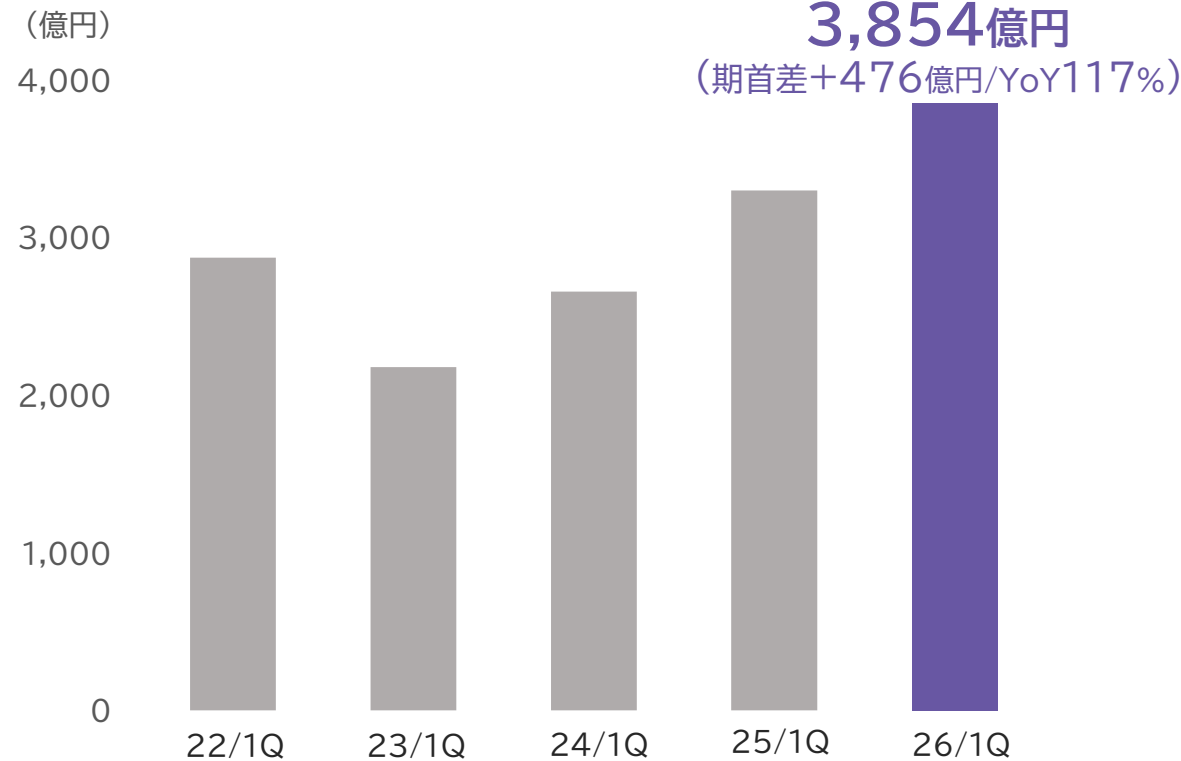
安全・安心 No.1

- 他行の先行利上げにより金利競争力が高まり、居住用住宅ローンの取扱高はYoY131%と改善
- 営業強化により、法人融資残高は順調拡大

## 住宅系ローン 残高



## 法人向け 債権残高



年間KPI: +320億円  
(3,700億円)  
(進捗率148.8%)

住宅ローン 取扱高 (YoY)	22/1Q	23/1Q	24/1Q	25/1Q	26/1Q
	1,551 (110%)	1,388 (90%)	1,755 (126%)	923 (53%)	1,205 (131%)

# [国内] 口座数・預金残高

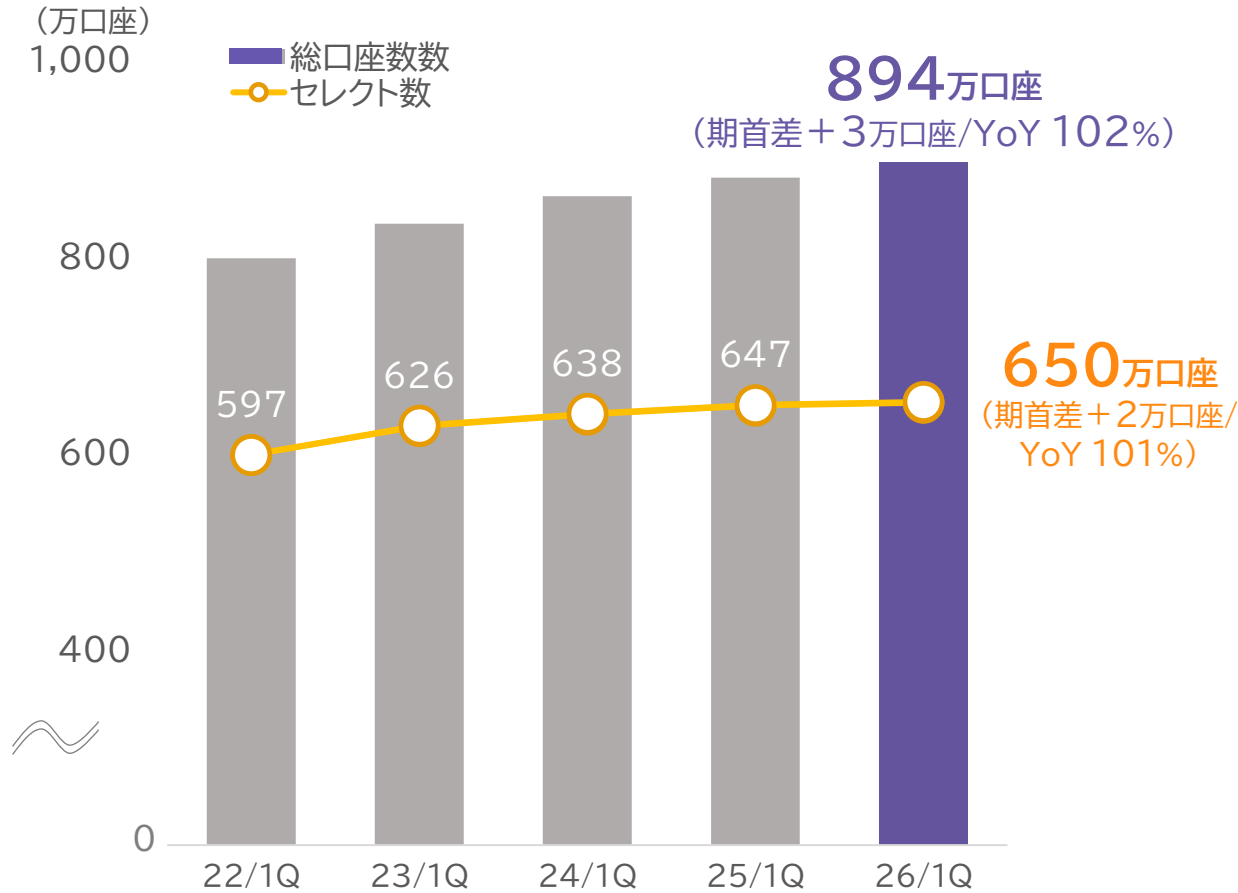
稼ぐ力の発揮

高効率経営への転換

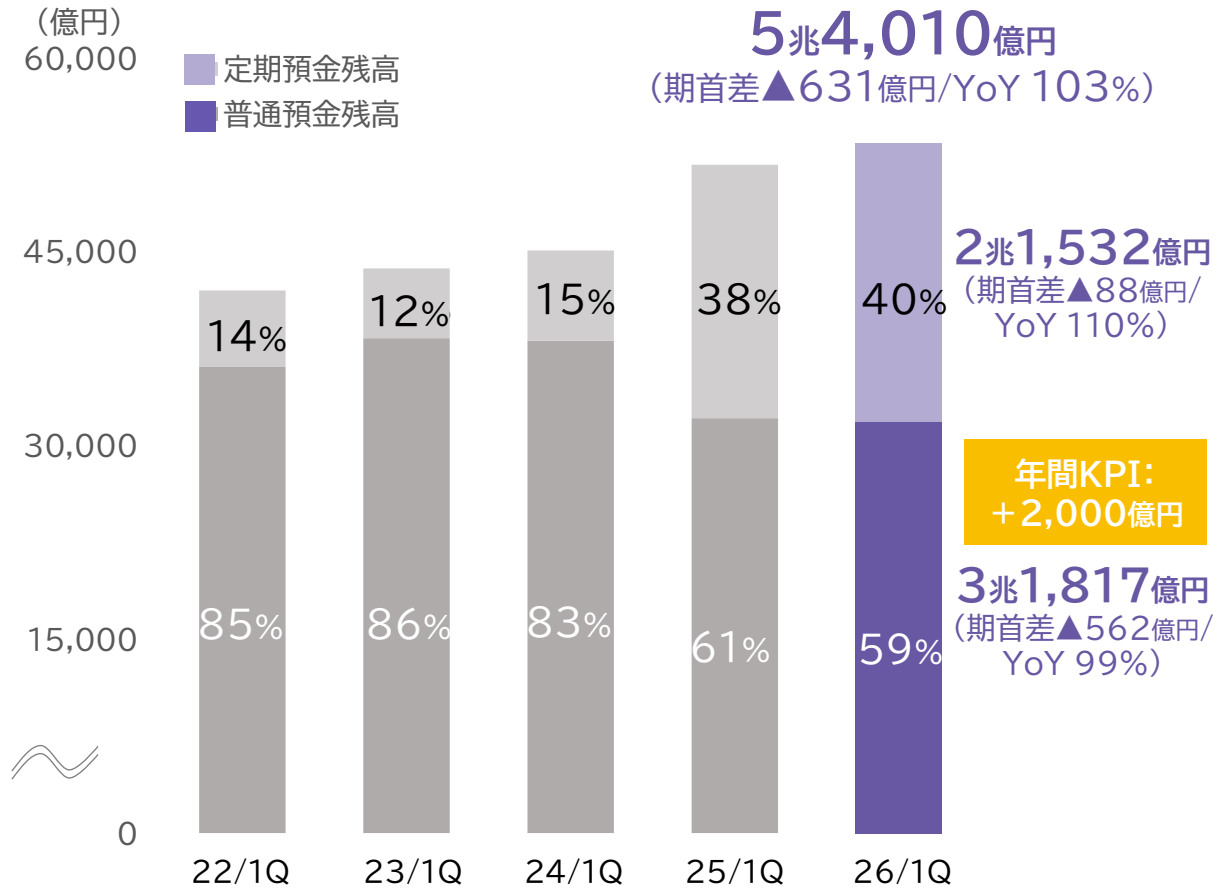
安全・安心 No.1

- ・ イオンカードセレクト※の獲得を強化し、生活口座化を推進
- ・ 普通預金残高は、各種施策の展開によりKPI目標の達成を目指す

## 総口座数とイオンカードセレクト口座数



## イオン銀行 預金残高と構成比



# [国内] 第1四半期 バランスシートの状況

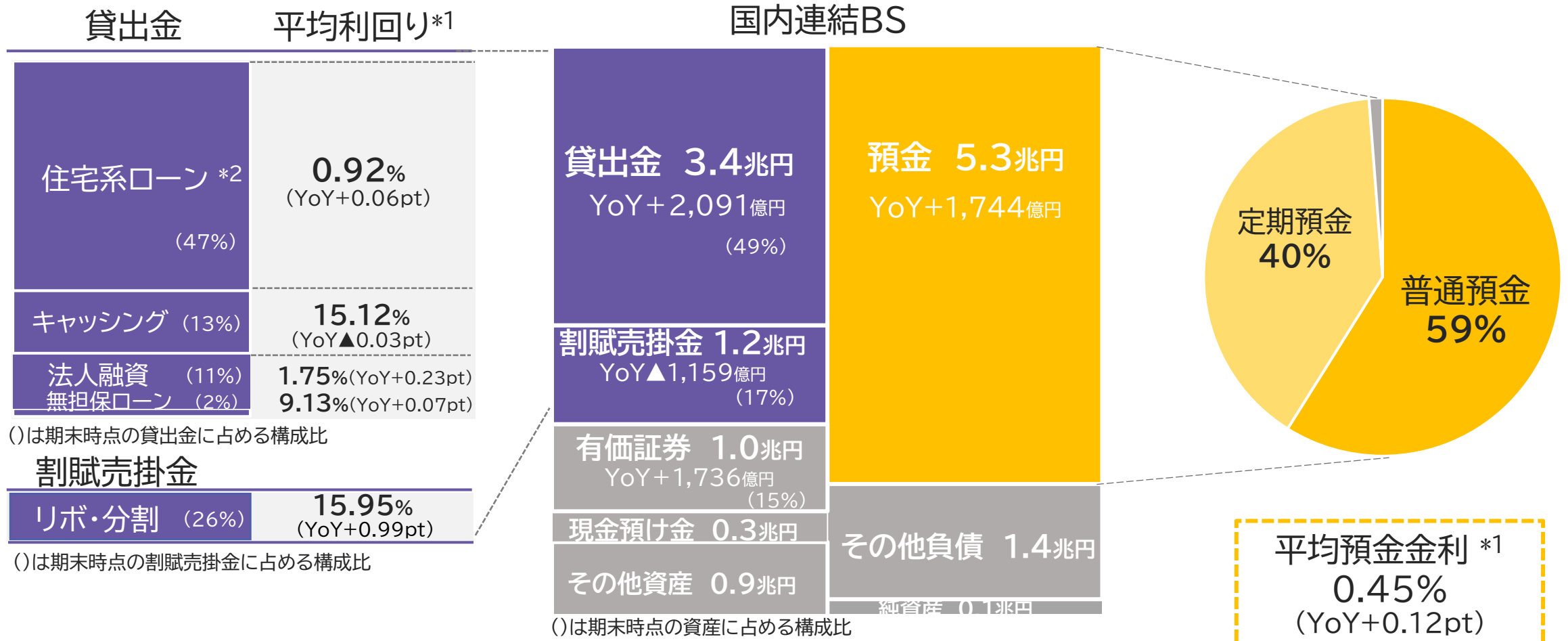
稼ぐ力の  
発揮

高効率経営  
への転換

安全・安心  
No.1

- 国内調達の大半は銀行預金 普通預金構成比を拡大することで調達コストの低減を図る
- 資産における高利回り債権※の構成比を高め、資産収益性を高める

※高利回り債権:リボ・分割、キャッシング、無担保ローン



\*1 四半期収益又は費用(3月、4月、5月) ÷ 期間平均残高(3月、4月、5月) × 4

\*2 居住用住宅ローンと投資用マンションローンの貸出金

# [国内] 預貸金利回り

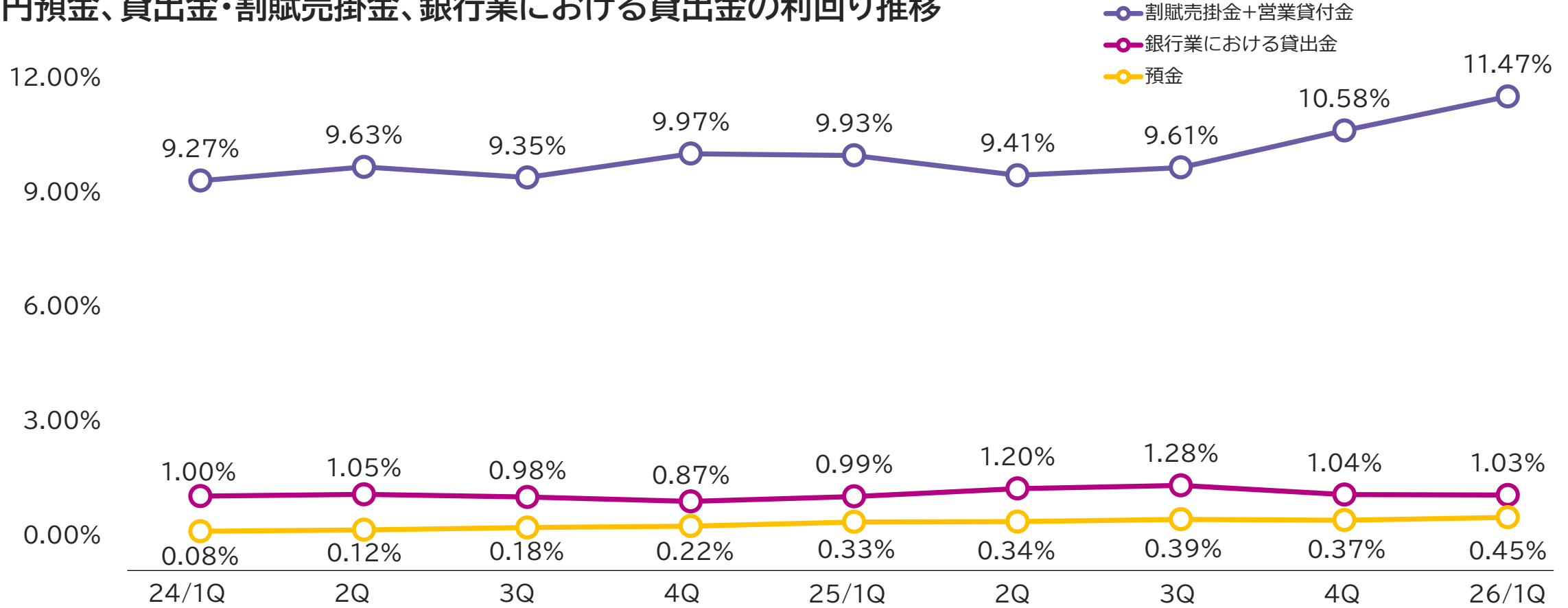
稼ぐ力の発揮

高効率経営への転換

安全・安心 No.1

- リボ手数料率の引上げ(年率15%→18%)により、貸出金・割賦売掛金の利回りが上昇
- 26年5月、住宅ローンの基準金利を+0.35%引き上げ 銀行業における貸出金の利回り上昇を見込む

## 円預金、貸出金・割賦売掛金、銀行業における貸出金の利回り推移



政策金利

0~0.1%

24年3月~

0.25%

24年7月~

0.50%

25年1月~

0.75%

25年12月~

# [国内] コスト構造改革の進捗

稼ぐ力の  
発揮

高効率経営  
への転換

安全・安心  
No.1

- 銀行ATMのコスト改革や特典等の見直しによる、商品・サービスの見直し、AI活用、外部委託削減等の体制見直しによる生産性改革を進め、26年度は27億円の改善を目指す

		FY2026 改善目標	FY2027 見通し
商品・サービスの見直し	顧客ニーズに合わせた条件改定・コスト最適化、ATM改革等 (廃止・運用見直し等)	▲16億円	▲40億円
AIを中心とした生産性改革	債権管理、コンタクトセンター等のAIオペレーター等の活用・業務効率化	▲11億円	▲20億円
	▶ 合計	▲27億円	▲60億円

# [国内] 貸倒関連費用率、人件費率の推移

稼ぐ力の  
発揮

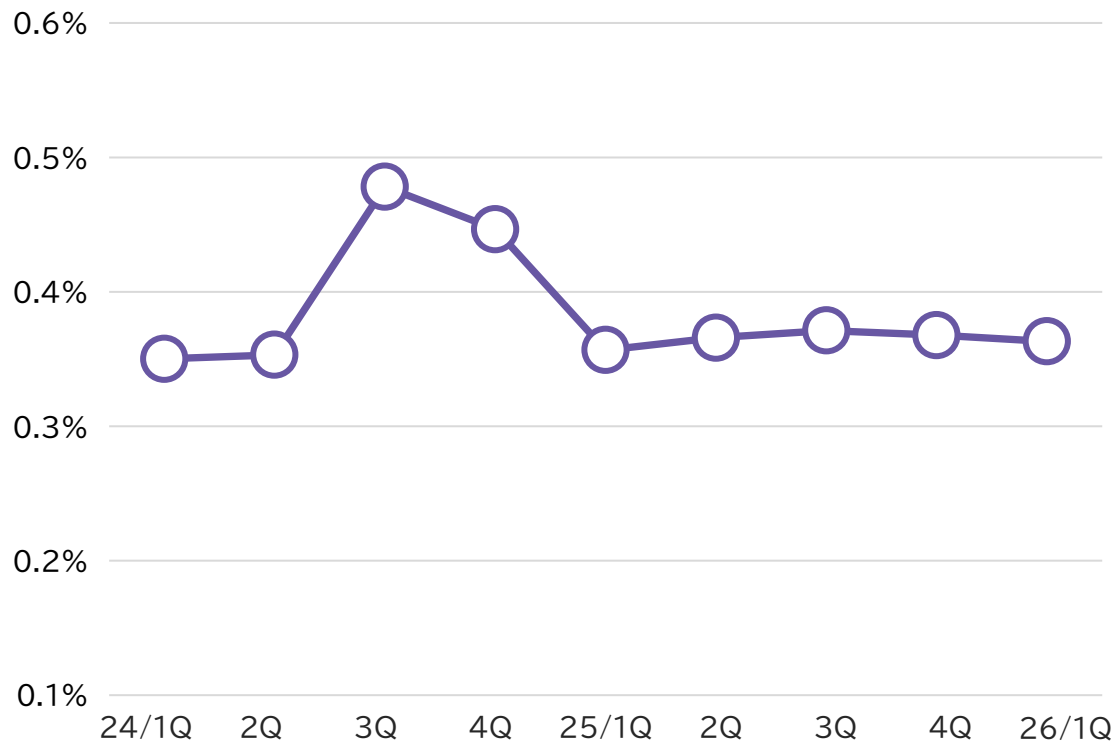
高効率経営  
への転換

安全・安心  
No.1

- 営業債権残高に対する貸倒関連費用率は、引き続き低位で安定
- 人件費率はYoYで2.6pt改善、事業ポートフォリオ見直しが収益構造の効率化に寄与

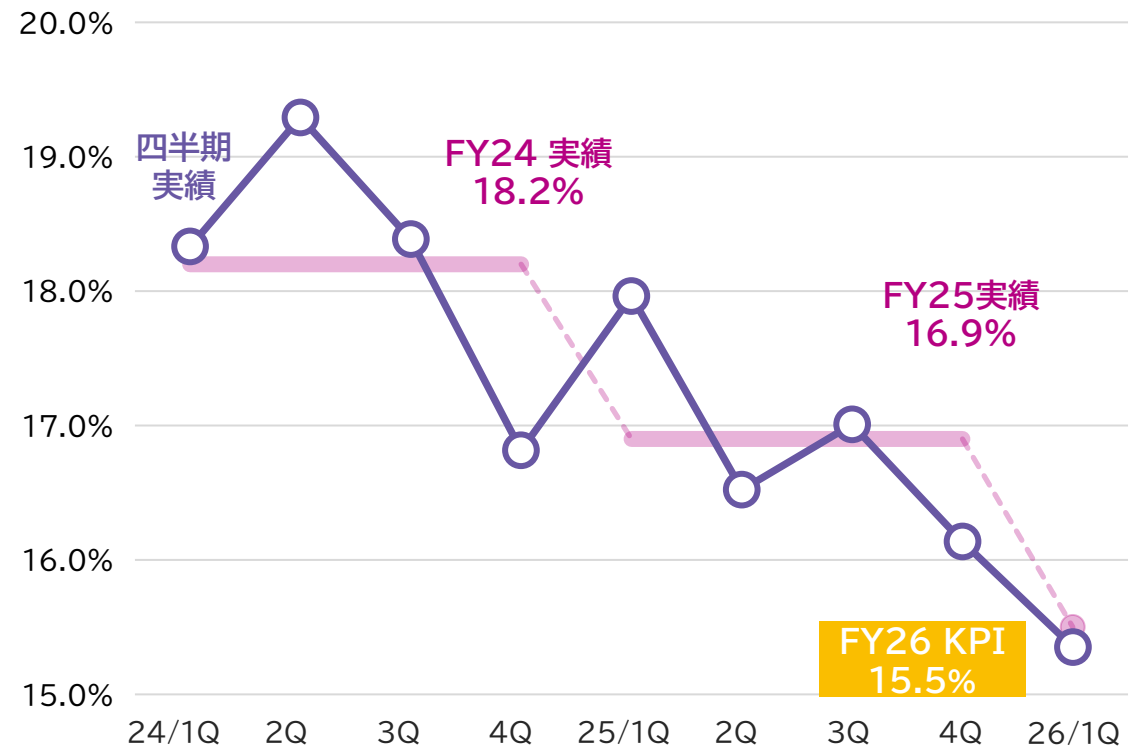
## 貸倒関連費用率の四半期推移

※営業貸付金と割賦売掛金の合計残高に対する貸倒関連費用率



## 人件費率の四半期推移

※人件費/営業収益比率



# 海外事業

# [海外] セグメント別 業績ハイライト

- 為替による押し上げ効果もあり、全エリアで増収増益

	海外事業		中華圏		メコン圏		マレー圏	
	金額	YoY	金額	YoY	金額	YoY	金額	YoY
営業収益	653 億円	116 %	98 億円	116 %	260 億円	107 %	294 億円	125 %
営業利益	115 億円	123 %	33 億円	134 %	41 億円	103 %	40 億円	141 %
<参考> 貸倒関連費用	203 億円	112 %	20 億円	103 %	84 億円	107 %	99 億円	120 %

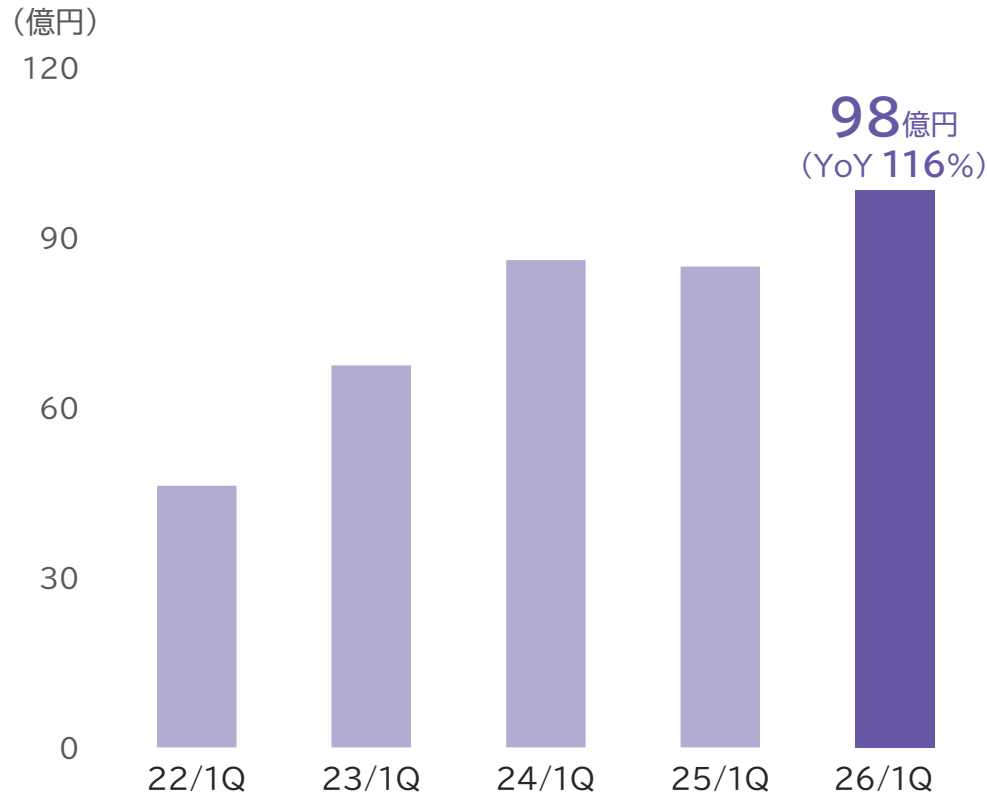
期中平均レート ※()内は前年同期差

HKD : 20.28円(7.9%円安) THB : 4.93円(12.8%円安) MYR : 40.10円(19.5%円安)

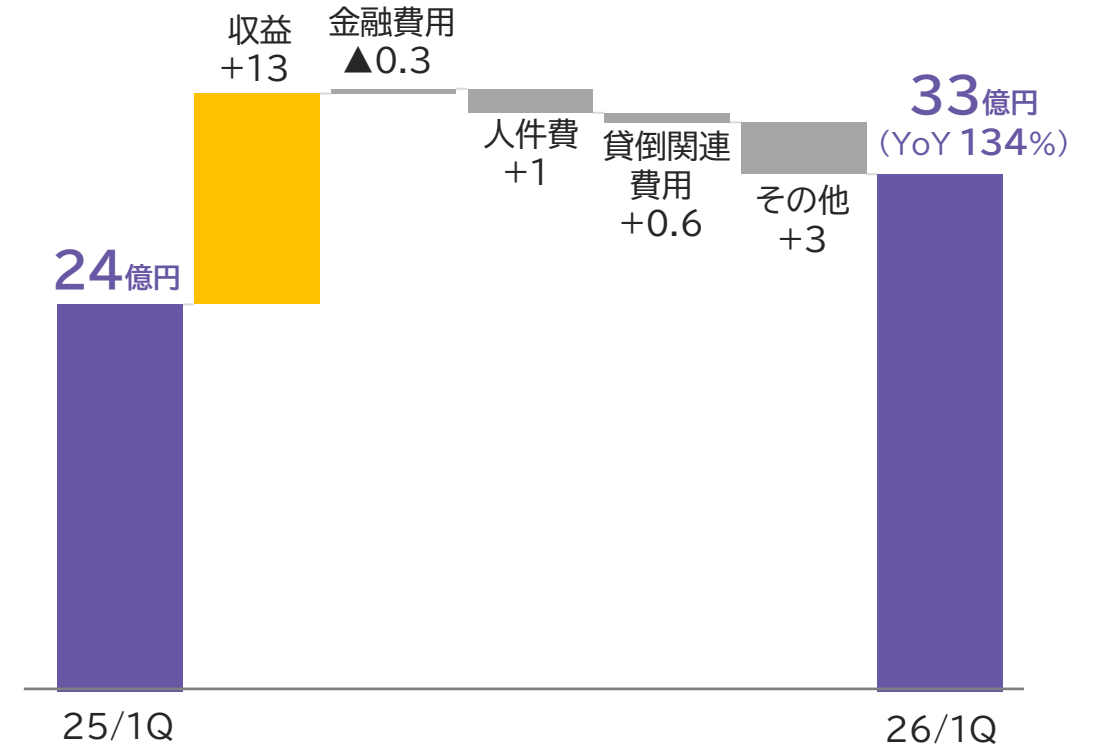
# [海外] 中華圏の業績ハイライト

- ターゲティング営業を通じた販促強化等により取扱高・残高が増加し、営業収益は増収
- 営業利益は途上与信の精緻化による貸倒関連費用の抑制等によりYoY134%

## 営業収益



## 営業利益前期差内訳

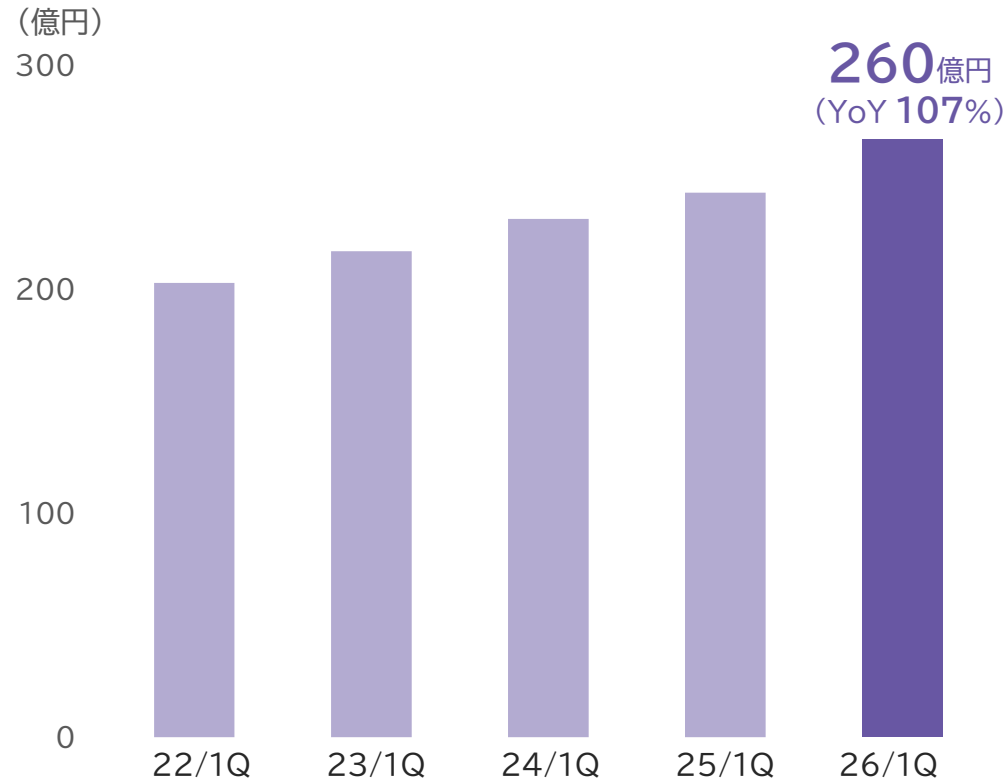


期中平均レート ※()内は前年同期差

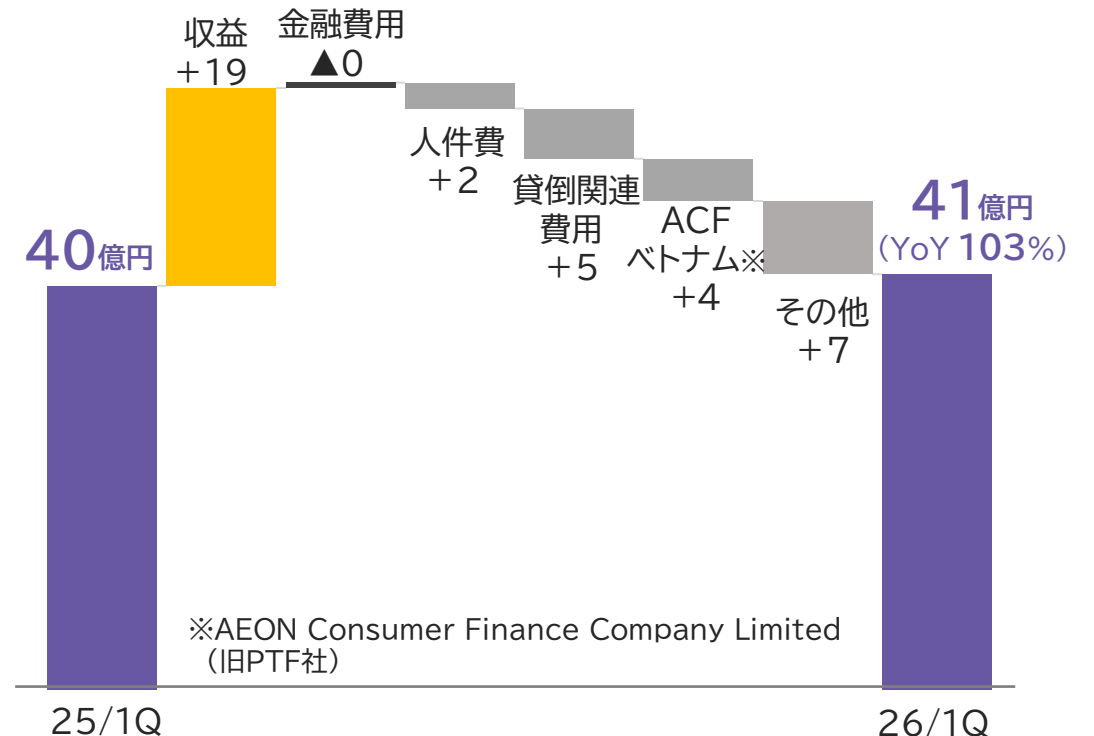
# [海外] メコン圏の業績ハイライト

- 為替による押し上げ効果に加え、貸倒関連費用や販促費等の費用抑制の取り組み強化により増収増益

## 営業収益



## 営業利益前期差内訳

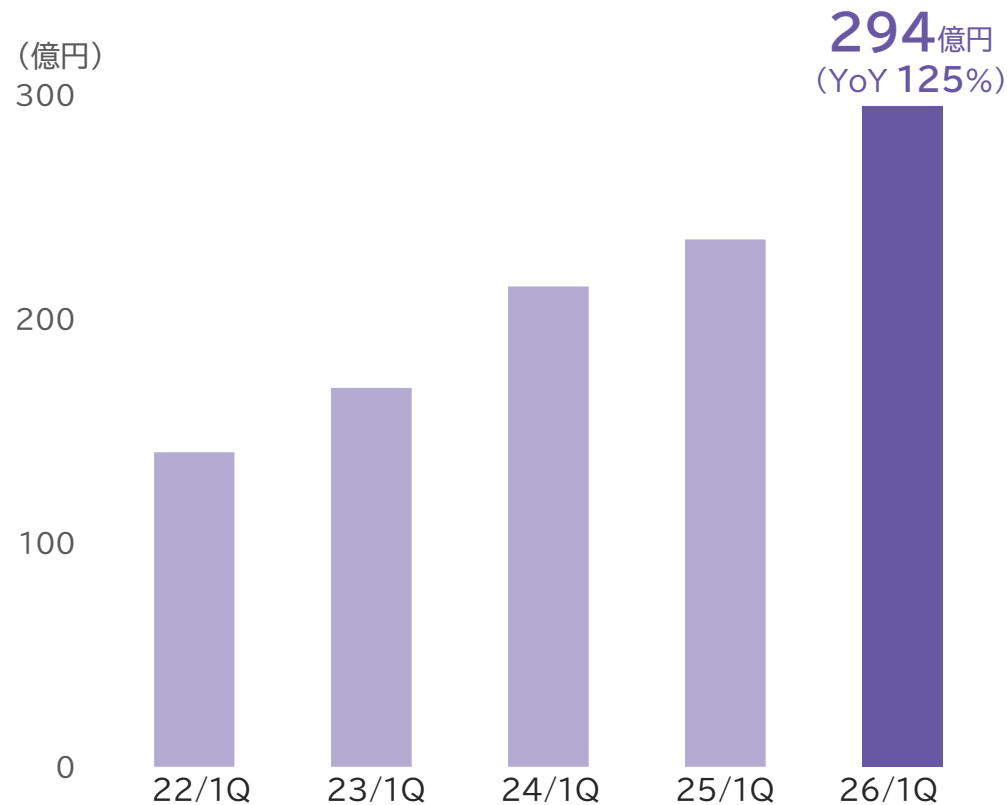


期中平均レート ※()内は前年同期差

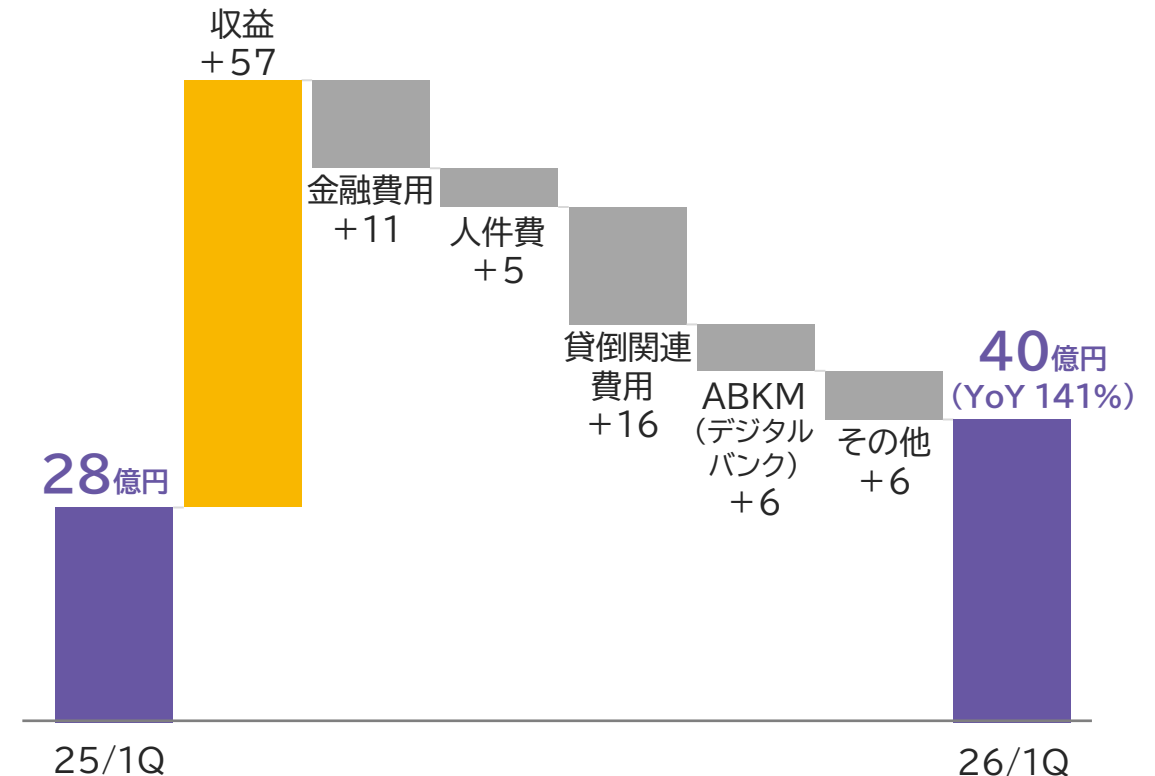
# [海外] マレー圏の業績ハイライト

- 大型バイクの個品割賦の取扱高伸長による残高増加がけん引し、増収
- 債権残高が増加する中、AIオペレーターの利用等により貸倒関連費用の増加を抑制し、増益

## 営業収益



## 営業利益前期差内訳



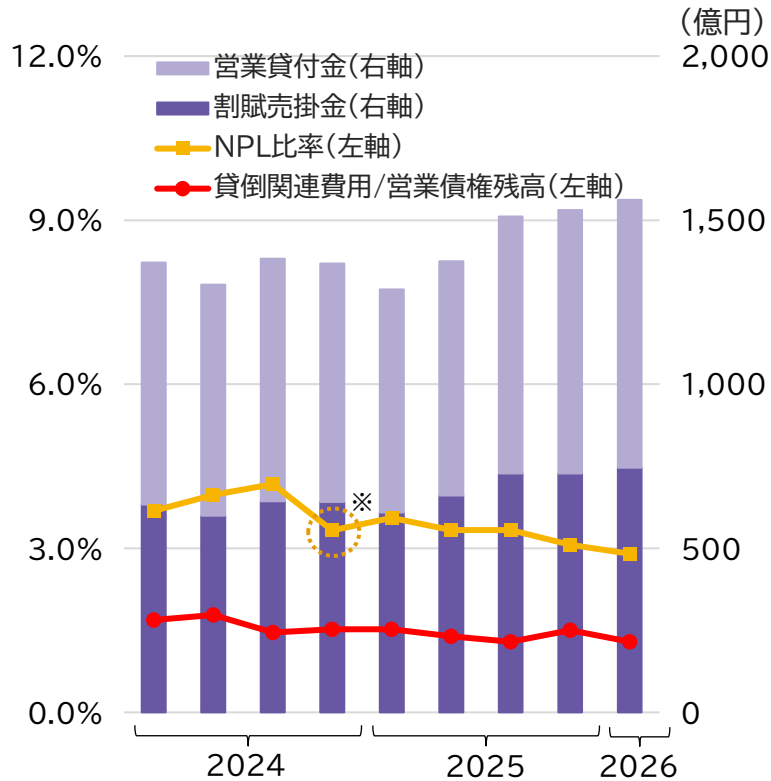
期中平均レート ※()内は前年同期差

HKD : 20.28円(7.9%円安) THB : 4.93円(12.8%円安) MYR : 40.10円(19.5%円安) 22

# [海外] 上場子会社の債権残高およびNPL推移

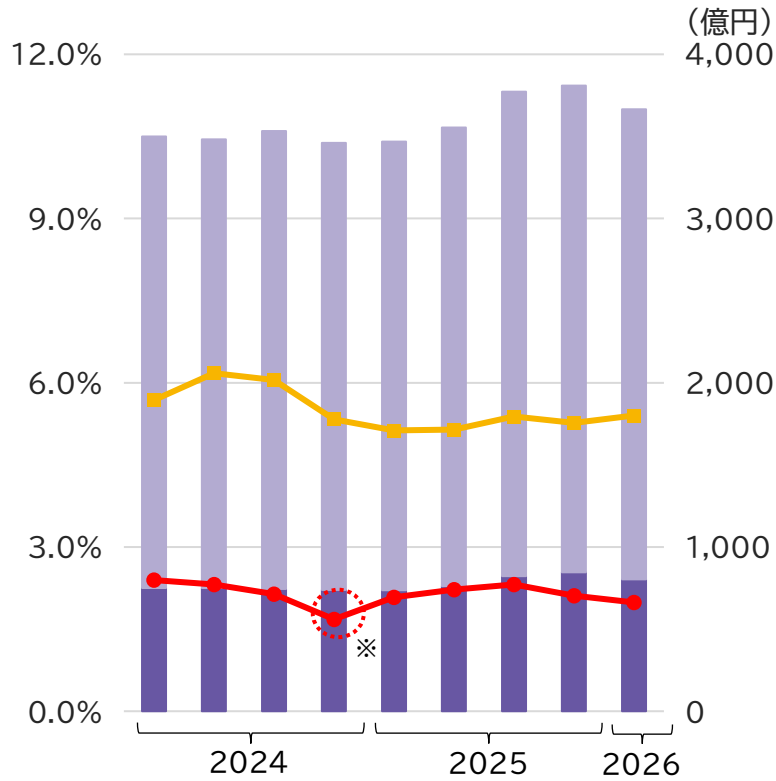
- 香港: 途上与信の精緻化・初期延滞債権の回収強化により、NPL比率・費用率ともに改善
- タイ: 債権残高が前期末比で減少するも、NPL比率・費用率はともに安定
- マレーシア: NPL比率は低位安定 貸倒関連費用率の低減に向けて回収施策強化を推進

## ■ ACSA(香港)



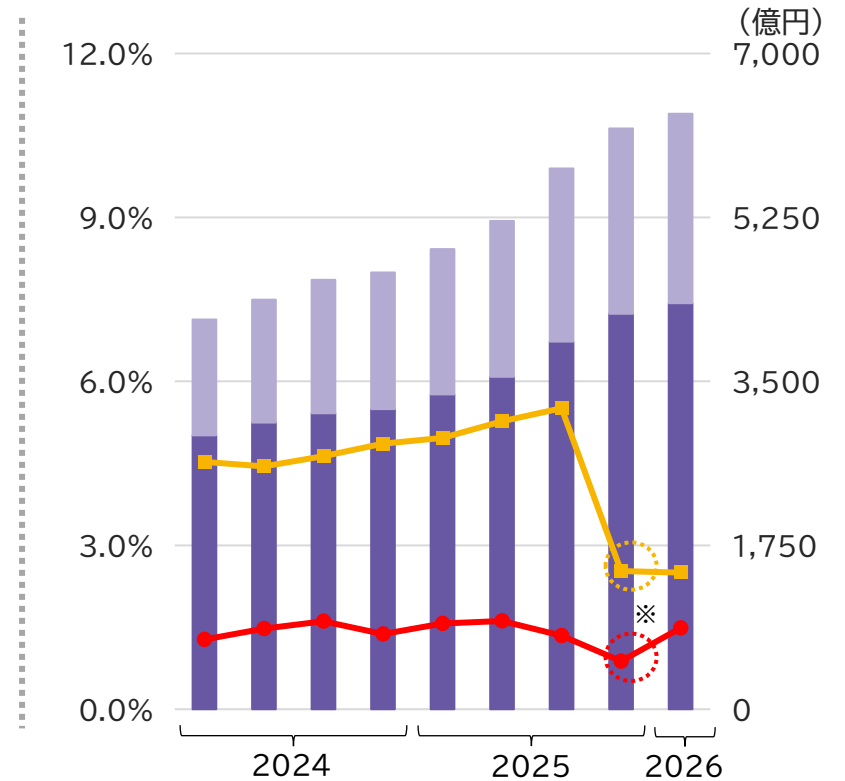
※リストラチャリング契約債権のNPL認識基準の見直し影響

## ■ AEONTS(タイ)



※24年2Qに発生した洪水被害に対する引当金の取崩し影響

## ■ ACSM(マレーシア)



※政府支援プログラム(AKPK)適用債権の区分見直しによる影響

期末日レート ※()内は前四半期差

HKD : 20.34円(2.2%円安)

THB : 4.90円(2.4%円高)

MYR : 40.19円(0.3%円安)

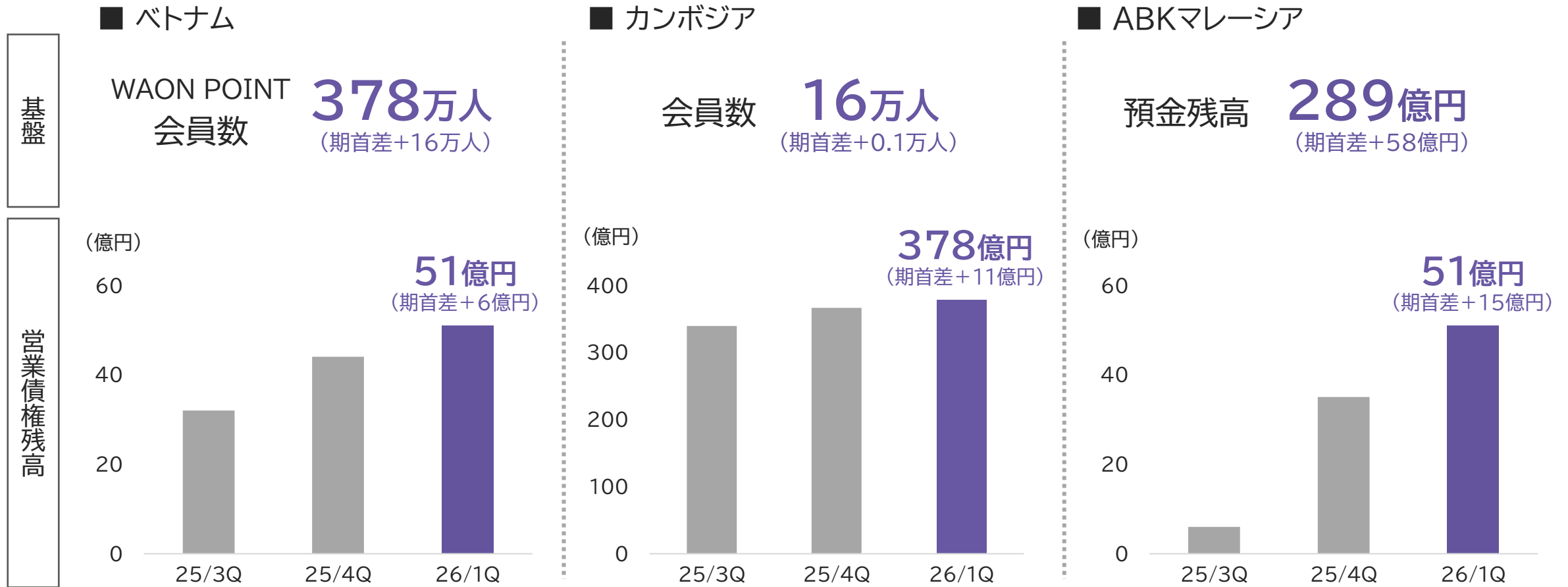
# [海外] 重点国の事業概況

稼ぐ力の発揮

高効率経営への転換

安全・安心 No.1

- ベトナムはポイント会員への融資提供を強化、カンボジアは下期にバコン(中央銀行のデジタル通貨)との連携開始を予定
- ABKマレーシアではAI家計アドバイザー機能を搭載し利便性向上 26年6月に事業者向け融資を開始



期末日レート(ベトナム・カンボジアは3月末時点) ※()内は前四半期差

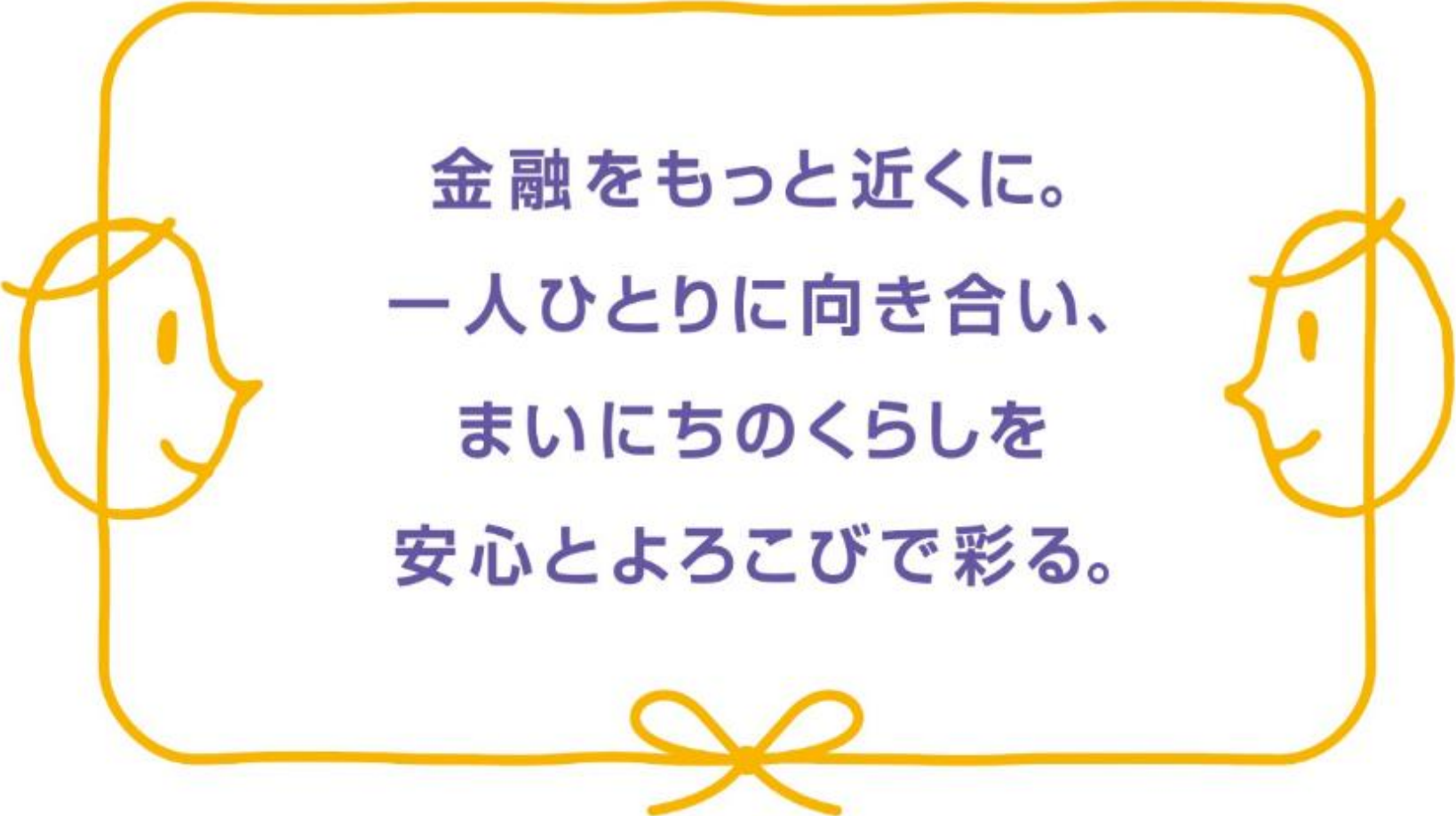
1万VND : 60.26円(1.2%円安) USD : 159.93円(2.2%円安) MYR : 40.19円(0.3%円安)

# 中期経営計画(2026~2030年度)KPIの進捗状況

指標(KPI)		2025年度 実績	2026年度 目標	1Q実績	通期進捗	2030年度 目標	
	単位						
国内	AEON Pay有効会員数	(万人)	1,208	3,000	1,368 (期首+160)	8.9%	6,000
	普通預金残高	(兆円)	3.2	3.4	3.1 (期首▲0.05)	—	5.6
	自社決済取扱高	(兆円)	9.8	11.0	2.5 (YoY+0.05)	22.8%	19.0
	個人向け営業債権残高※1 (高利回り債権残高)	(億円)	8,838	9,500	8,967 (期首+128)	19.4%	12,600
	法人向け営業債権残高	(億円)	3,378	3,700	3,854 (期首+476)	148.8%	5,300
	収益人件費率	(%)	16.9	15.5	15.4 (YoY▲2.6pt)	—	12.0
海外	営業債権残高(上場3社※2)	(億円)	11,577	12,900	11,634 (期首+56)	4.3%	17,500
	営業債権残高(重点国※3)	(億円)	411	590	429 (期首+17)	10.0%	2,000

※1 債権流動化前 ※2 イオンバンク(マレーシア)を含む ※3 ベトナム、カンボジアの子会社合計

## Our Purpose



金融をもっと近くに。  
一人ひとりに向き合い、  
まいにちのくらしを  
安心とよろこびで彩る。



# Appendix

# 企業価値向上に向けた考え方

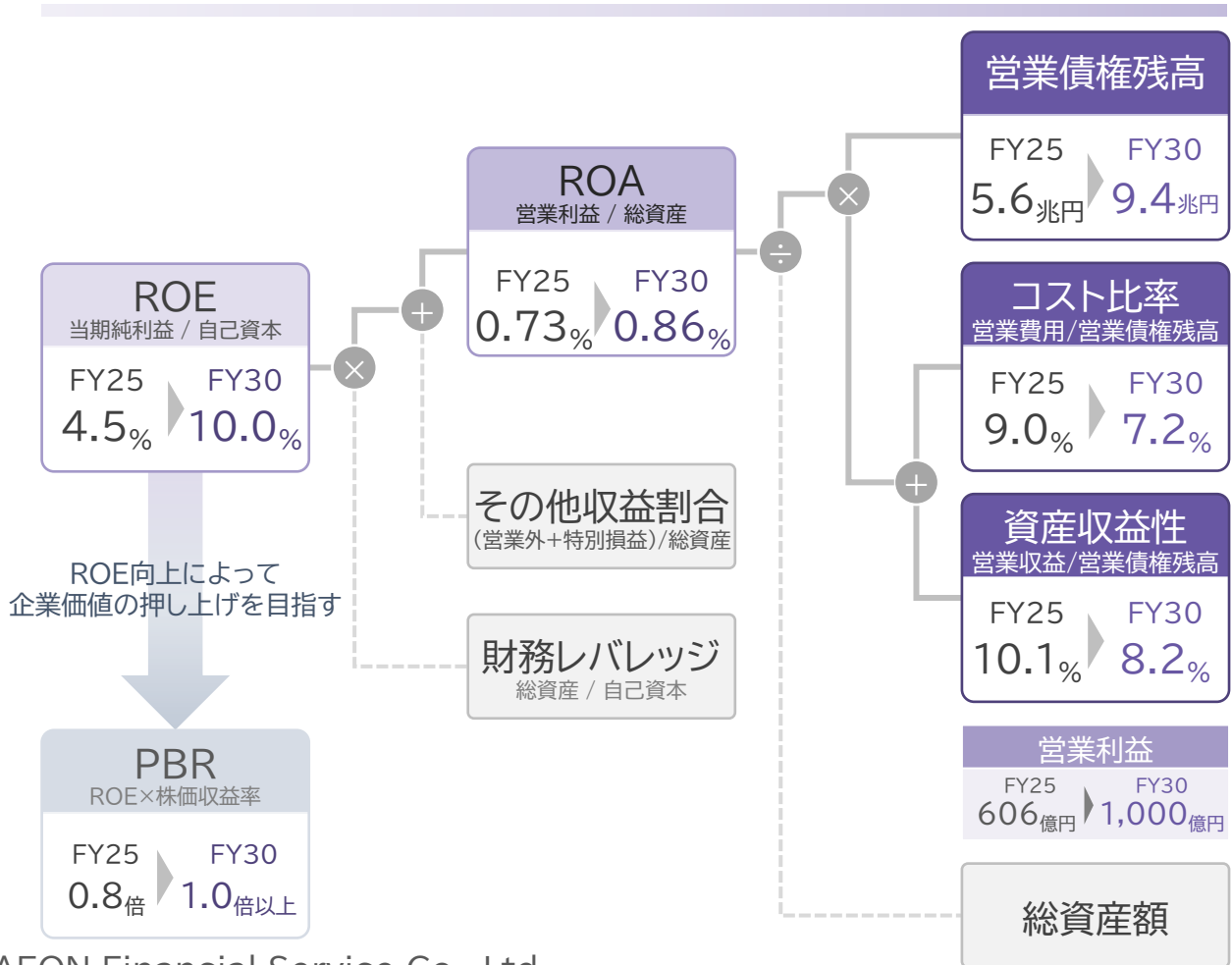
稼ぐ力の  
発揮

高効率経営  
への転換

安全・安心  
No.1

- 新商品投入によってポートフォリオを多様化させ営業債権残高を拡大、安定した収益基盤を確立
- コスト比率の低減とあわせてROE10.0%の達成を目指す

## KGIツリー



## KPI

FY30目標(FY25差)



# 中期経営計画にて管理するKPIの一覧

各年度指標(KPI)		2025		2026		2027	2028	2029	2030	
	単位	実績	YoY	(計画)	実績差	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)	
	AEON Pay有効会員数	(万人)	1,208	+392	3,000	+1,792	4,000	4,700	5,500	6,000
	普通預金残高	(兆円)	3.2	▲0.0	3.4	+0.2	3.7	4.1	4.7	5.6
	自社決済取扱高	(兆円)	9.8	+0.3	11.0	+1.2	12.0	14.0	16.0	19.0
国内	個人向け営業債権残高 <sup>※1</sup> (高利回り債権残高)	(億円)	8,838	+420	9,500	+662	10,200	11,100	11,900	12,600
	法人向け営業債権残高	(億円)	3,378	+415	3,700	+322	4,000	4,300	4,800	5,300
	収益人件費率	(%)	16.9	▲1.3	15.5	▲1.4	14.5	14.0	13.0	12.0
	営業債権残高(上場3社 <sup>※2</sup> )	(億円)	11,577	+2,084	12,900	+1,323	14,000	15,500	16,300	17,500
海外	営業債権残高(重点国 <sup>※3</sup> )	(億円)	411	▲116	590	+179	760	1,000	1,500	2,000

※1 債権流動化前 ※2 イオンバンク(マレーシア)を含む ※3 ベトナム、カンボジアの子会社合計  
AEON Financial Service Co., Ltd.

# [国内] 顧客基盤

国内有効ID

## 4,030万人

(YoY110%、期首差+105万人)

AEON Pay有効会員数

カード会員数 ※1

イオン銀行口座数

電子マネーWAON ※2



1,368万人

(期首差+160万人)



2,649万人

(期首差▲4万人)



894万人

(期首差+3万人)



モバイル  
WAON

662万人

(期首差+31万人)

\*電子マネーWAON累計発行枚数 1億1,122万枚

## 海外上場3社 業績（現地通貨）

		FY 2025	FY 2026	
		1Q実績	1Q実績	YoY
AEON CREDIT SERVICE (ASIA)	Revenue	442,180	476,183	108%
	Profit before tax	131,965	163,549	124%
HKD' 000	Profit for the period	109,325	135,977	124%
AEON THANA SINSAP (THAILAND)	Revenue	5,392,925	5,171,608	96%
	Profit before tax	1,012,030	988,981	98%
THB' 000	Profit for the period	808,035	779,743	96%
AEON CREDIT SERVICE (M)Berhad	Revenue	599,922	647,568	108%
	Profit before tax	109,031	130,879	120%
MYR' 000	Profit for the period	77,547	93,433	120%

# 海外上場3社 業績 (円換算)

		FY 2025	FY 2026		為替レート
		1Q実績	1Q実績	YoY	
AEON CREDIT SERVICE (ASIA)	Revenue	83億円	96億円	116%	<u>為替 (円 / HKD)</u> ・ FY2025Q1 : 18.80円 ・ FY2026Q1 : 20.28円
	Profit before tax	24億円	33億円	134%	
	Profit for the period	20億円	27億円	134%	
AEON THANA SINSAP (THAILAND)	Revenue	235億円	254億円	108%	<u>為替 (円 / THB)</u> ・ FY2025Q1 : 4.37円 ・ FY2026Q1 : 4.93円
	Profit before tax	44億円	48億円	110%	
	Profit for the period	35億円	38億円	109%	
AEON CREDIT SERVICE (M)Berhad	Revenue	201億円	259億円	129%	<u>為替 (円 / MYR)</u> ・ FY2025Q1 : 33.57円 ・ FY2026Q1 : 40.10円
	Profit before tax	36億円	52億円	143%	
	Profit for the period	26億円	37億円	144%	

# 海外事業の各種取扱高、債権残高の状況

(単位:億円)		中華圏(香港)		メコン圏(タイ)		マレー圏		海外事業	
			前年同期比 (増減)		前年同期比 (増減)		前年同期比 (増減)		前年同期比 (増減)
クレジットカード	取扱高	<b>754</b>	119%	<b>705</b>	92%	<b>310</b>	140%	<b>1,770</b>	109%
	債権残高	<b>1,213</b>	+211	<b>1,604</b>	+14	<b>481</b>	+116	<b>3,299</b>	+342
個品割賦	取扱高	-	-	<b>55</b>	76%	<b>415</b>	117%	<b>471</b>	110%
	債権残高	-	-	<b>533</b>	+106	<b>3,956</b>	+797	<b>4,490</b>	+904
個人ローン	取扱高	<b>83</b>	159%	<b>273</b>	108%	<b>222</b>	112%	<b>579</b>	115%
	債権残高	<b>348</b>	+62	<b>1,975</b>	+0	<b>2,063</b>	+510	<b>4,387</b>	+572
合計	取扱高	<b>837</b>	122%	<b>1,034</b>	94%	<b>948</b>	122%	<b>2,821</b>	110%
	債権残高	<b>1,562</b>	+273	<b>4,113</b>	+122	<b>6,501</b>	+1,424	<b>12,176</b>	+1,820

# バランスシート状況

(単位:億円)	FY 2026			FY 2026	
	1Q実績	期首増減		1Q実績	期首増減
現金預け金	4,566	▲ 2,201	預金	54,260	▲ 560
営業貸付金	10,868	+276	買掛金	4,894	+965
銀行業における 貸出金	29,258	+850	有利子負債 (預金除く)	14,300	▲ 93
割賦売掛金	18,414	+1,110	その他	3,864	+119
貸倒引当金	▲ 1,353	+12	負債合計	77,318	+431
その他	21,741	+307	純資産合計	6,177	▲ 74
資産合計	83,496	+356	負債及び 純資産合計	83,496	+356

# セグメント別業績

(単位:億円)	国内計 ※		海外計 ※		連結計 ※			
	リテール	ソリューション	中華圏	メコン圏	マレー圏			
営業収益	891	669	504	653	98	260	294	1,538
前年同期比	110%	112%	107%	116%	116%	107%	125%	113%
営業利益	59	15	50	115	33	41	40	174
前年同期比	172%	-%	108%	123%	134%	103%	141%	135%
営業利益率	6.7%	2.3%	10.1%	17.6%	33.7%	15.9%	13.8%	11.4%
前年同期差	+2.4pt	+3.4pt	+0.0pt	+0.9pt	+4.5pt	▲0.7pt	+1.5pt	+1.8pt

(参考) 債権流動化による収益影響 5 億円 (前年同期差▲6億円)

※ 国内計及び海外計は、各事業に属するセグメント間取引の相殺消去後であり、連結計には、本社・機能会社および連結消去額を含む

# エリア別業容

(単位:億円)		取扱高	前年同期比	営業債権残高 (流動化前)	期首増減
国内	クレジットカード	21,341	104%	20,224	+930
	ショッピング (うちリボ・分割)	20,385	104%	15,834	+894
	キャッシング	-	-	4,033	+82
	キャッシング	955	92%	4,389	+36
	住宅ローン	1,205	131%	40,846	+381
	その他	-	-	13,262	+45
	国内計	-	-	74,333	+1,357
海外	クレジットカード	1,770	109%	3,299	▲40
	ショッピング	1,270	110%	1,763	▲10
	キャッシング	500	106%	1,535	▲29
	個品割賦	471	110%	4,490	+91
	パーソナルローン	579	115%	4,387	+3
	その他	-	-	20	+2
	海外計	-	-	12,197	+57

# セグメント別貸倒及び国内利息返還損失引当金の状況

## 【貸倒引当金】

(単位:億円)	国内計			海外計	連結計			
	リテール	ソリューション	中華圏		メコン圏	マレー圏		
期首貸倒引当金残高	553	16	542	803	55	416	332	1,366
貸倒関連費用 (引当金繰入・損失)	62	0	62	203	20	84	99	265
貸倒償却額 (移管債権等含む)	69	0	69	209	19	97	92	278
期末貸倒引当金残高	546	16	535	797	55	403	338	1,353

※参考 国内子会社の期末残高

<リテール>	イオン銀行:	16億円
<ソリューション>	イオンフィナンシャルサービス:	545億円
	イオン住宅ローンサービス:	9億円

## 【利息返還損失引当金】

(単位:億円)	FY2025 1Q実績	FY2026 1Q実績
期首残高	9	4
繰入額	-	-
利息返還額	1	0
期末残高	7	4

# イオン銀行の業務改善命令への対応進捗

稼ぐ力の  
発揮

高効率経営  
への転換

安全・安心  
No.1

- イオン銀行における改善計画は遅滞なく進捗
- 対応完了の項目においても外部サービス導入等の運用高度化を継続し、態勢強化に取り組む

## 業務改善命令の内容

マネロン・テロ資金供与対策を重視する健全なリスクカルチャーを醸成し、実効性のあるマネロン・テロ資金供与リスク管理態勢を構築するとともに、疑わしい取引の届出に関する適切な業務運営の構築

## 対応事項

## 1Qにおける主な進捗

1 マネロン・テロ資金供与対策に関するガバナンス強化

2 疑わしい取引の届出業務を適時・適切に行うための態勢構築

3 取引モニタリングシステムで検知したにもかかわらず、疑わしい取引に該当するか否かの判断を行わず放置した取引への対応

4 ガイドライン未了事項の早期解消

5 新システムの早期リリース及び業務運営の開始

### ガバナンス強化

- 従業員意識向上、経営陣と従業員の双方向の対話を目的として、経営陣と従業員との座談会を実施(26/5月)

### 態勢構築

- KRIの実績・推移を月次で報告し、検証する運用を継続(25/1月～)
- 業務量に応じた適切な人員配置による業務運営態勢構築(26/5月)
- 人員の増員、外部専門家の知見の活用等による内部監査態勢構築(26/5月)

### 教育/研修

- 26年度研修プログラムに基づく研修を継続して実施(26/3月～)

業務改善計画の進捗状況の詳細は  
イオン銀行ウェブサイトに掲載しております  
<https://www.aeonbank.co.jp/company/release/2025/>

本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクをはじめとする様々な不確実要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。



イオンフィナンシャルサービス